



SUNTORY HALL

公益財団法人 サントリー芸術財団 サントリーホール 107-8403 東京都港区赤坂1-13-1 Tel: 03-3505-1002 Fax: 03-3505-1007 suntory.jp/HALL/

NEWS RELEASE

2026年5月 (No.sh0489)

サントリーホール開館40周年記念公演
小林研一郎500回記念コンサート



小林研一郎 ◦山本倫子



堤剛 ◦鍋島徳恭

サントリーホール出演500回
圧倒的な最多出演を誇る指揮者 小林研一郎が
開館40周年に新たな歴史を刻む

サントリーホールは、「サントリーホール開館40周年記念公演 小林研一郎500回記念コンサート」を2026年10月26日(月)に開催いたします。

「炎のコバケン」の愛称で親しまれる指揮者・小林研一郎は、1987年にサントリーホール大ホールの指揮台に立って以来、本公演にて通算500回目の出演となります。これまで小林氏はサントリーホールにて海外のオーケストラと共演を重ねるとともに、ホール主催公演にも数多く出演し、2007・2009年にはアーネム・フィル×日本フィル合同演奏会を実現しました。日本フィルハーモニー交響楽団との共演は300回を超え、音楽監督の就任記念特別演奏会など節目の公演をサントリーホールで指揮しています。

本公演では、1987年の初登場時に演奏された名曲『シェエラザード』『ボレロ』のほか、チャイコフスキー作曲『ロココ風の主題による変奏曲』では、サントリーホール館長でチェリストの堤剛がソリストとして共演。オーケストラは、小林氏が桂冠名誉指揮者を務める日本フィルハーモニー交響楽団です。

小林氏の親しみやすいトークもお馴染み、アナウンサー朝岡聡のナビゲートでお楽しみいただけます。サントリーホール40周年の節目に、小林研一郎の通算500回出演を刻む記念のステージ、ぜひお立ち会いください。

※公演詳細はこちらからご覧ください

https://www.suntory.co.jp/suntoryhall/schedule/detail/20261026_M_2.html

[チケットのお申し込み・お問合せ]

サントリーホールチケットセンター TEL 0570-55-0017 (10:00~18:00、休館日除く)

サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB suntoryhall.pia.jp

— 記 —

サントリーホール開館 40 周年記念公演

小林研一郎 500 回記念コンサート

Ken-ichiro Kobayashi's 500th Concert at Suntory Hall — Commemorative Concert

【日時】 2026 年 10 月 26 日（月） 19:00 開演（18:20 開場）

【会場】 サントリーホール 大ホール

【出演】

指揮：小林研一郎 Ken-Ichiro Kobayashi, Conductor

チェロ：堤 剛 Tsuyoshi Tsutsumi, Cello*

ナビゲーター：朝岡 聡 Satoshi Asaoka, Navigator

日本フィルハーモニー交響楽団 Japan Philharmonic Orchestra

【曲目】

リムスキー＝コルサコフ：交響組曲『シェエラザード』 作品 35

Nikolay Andreyevich Rimsky-Korsakov: *Scheherazade*, Op. 35

チャイコフスキー：ロココ風の主題による変奏曲 イ長調 作品 33*

Pyotr Ilyich Tchaikovsky: *Variations on a Rococo Theme in A Major*, Op. 33*

ラヴェル：『ボレロ』

Maurice Ravel: *Boléro*

【主催】 サントリーホール

【協力】 日本フィルハーモニー交響楽団

【チケット料金】

S 席 11,000 円 A 席 8,000 円 B 席 6,000 円 U25 席 2,000 円

【チケット発売】

サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売：2026 年 5 月 24 日（日） 10 時～30 日（土）

日本フィル各種有料会員先行発売：

2026 年 5 月 25 日（月） 10 時～30 日（土） ※5 月 30 日（土）は日本フィル e チケット ♪ のみ販売

一般発売：2026 年 5 月 31 日（日） 10 時～

※日本フィル・サービスセンター（TEL）のみ 6 月 1 日（月） 10 時～

【チケット取り扱い】

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10:00~18:00、休館日を除く)

サントリーホール・メンバーズ・クラブ WEB suntoryhall.pia.jp

日本フィル・サービスセンター TEL: 03-5378-5911 (平日 10~17 時)

日本フィル e チケット ♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>

チケットぴあ t.pia.jp

イープラス eplus.jp

ローソンチケット l-tike.com

※U25 席はサントリーホールチケットセンター (WEB・電話・窓口) のみ取り扱い。25 歳以下、来場時に身分証提示要。お一人様 1 枚限り。

※内容に変更が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。公演の最新情報はホームページにて発表いたします。(URL=suntory.jp/HALL/)

※就学前のお子様は同伴・入場いただけません。

【プロフィール】

■指揮：小林研一郎 Ken-Ichiro Kobayashi, Conductor

東京藝術大学作曲科、および指揮科の両科を卒業。1974 年第 1 回ブタペスト国際指揮者コンクール第 1 位、および特別賞を受賞。2002 年プラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。

これまでにハンガリー国立フィル、チェコ・フィル、アーネム・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、フランス国立放送フィル、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管、ロンドン・フィル、ハンガリー放送響、N 響、読響、日本フィル、都響などの名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章 (同国で最高位)、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞などを受賞。

作曲家としても数多くの作品を書き、1999 年に日本・オランダ交流 400 年記念の委嘱作品、管弦楽曲『パッサカリア』を作曲、ネーデルラント・フィルハーモニー管弦楽団によって初演されると、聴衆から熱狂的な喝采をもって迎えられた。同作品はそれ以降も様々な機会に、アシュケナーズ指揮 N 響、小林研一郎指揮日本フィルなどで再演されている。

2005 年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を続けている。

CD、DVD はオクタヴィア・レコードより多数リリース。著書に『指揮者のひとりごと』(日本図書協会選定図書) などがある。

現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル、名古屋フィルおよび群響桂冠指揮者、読売日響特別客演指揮者、九響名誉客演指揮者、東京藝術大学、東京音楽大学およびリスト音楽院名誉教授、ローム ミュージック ファンデーション評議員などを務める。

■チェロ：堤 剛 Tsuyoshi Tsutsumi, Cello

桐朋学園子供のための音楽教室、桐朋女子高校音楽科（共学）を通じ齋藤秀雄に師事。1961年インディアナ大学（アメリカ）に留学し、ヤーノシュ・シュタルケルに師事。63年ミュンヘン国際コンクールで第2位、ブダペストでのカザルス国際コンクールで第1位入賞。

これまでに鳥井音楽賞（現サントリー音楽賞）、ウジェーヌ・イザイ・メダル（ベルギー）、芸術祭放送大賞、芸術祭優秀賞、レコード・アカデミー賞、モービル音楽賞、N響有馬賞、日本芸術院賞、中島健蔵音楽賞、ウィーン市功労名誉金賞、毎日芸術賞（音楽部門）、文化庁創立五十周年記念表彰など多数受賞、表彰されている。

2009年秋の紫綬褒章を受章。また同年、天皇陛下御在位二十年記念式典にて御前演奏を行った。13年、文化功労者に選出。20年のウィーン・フィルハーモニー管弦楽団日本公演においてソリストを務め、大反響を呼んだ。

24年、クラシック音楽の器楽奏者として初めて文化勲章を受章。

カナダの西オンタリオ大学准教授、アメリカのイリノイ大学教授、インディアナ大学教授を経て現在、桐朋学園大学特命教授（元学長04～13年）。霧島国際音楽祭音楽監督。公益財団法人サントリー芸術財団代表理事、サントリーホール館長、日本チェロ協会理事長。日本芸術院会員。

■日本フィルハーモニー交響楽団 Japan Philharmonic Orchestra

1956年6月、渡邊暁雄を中心に創立。現在、カーチン・ウォンが首席指揮者を務め、近年の高い演奏力と積極的なプログラミングは「21世紀の日本のオーケストラが目指すべき方向を明確に示す」と評価される。桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）広上淳一をという指揮者陣を中心に年間150回を超えるオーケストラ公演を行っている。芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。

公式ホームページ japanphil.or.jp/

公式 X @Japanphil 公式 Instagram @japanphil.official